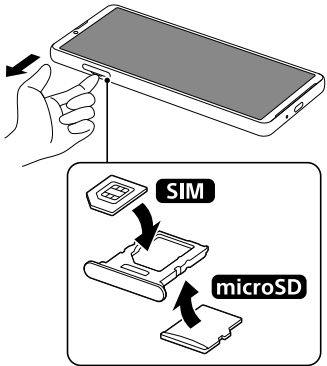


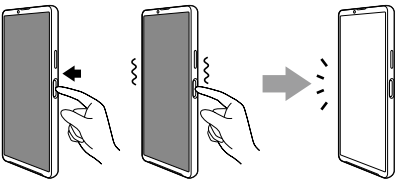
スタートガイド

SIMカードを入れる



SIMカードの向きをよくご確認の上、正しく取り付けてください。

電源を入れる



電源ボタンを本体が振動するまで長押しする。

eSIMを設定するには

画面を下から上にスワイプし、[設定]>[ネットワークとインターネット]>[SIM]>[SIMの追加]をタップします。画面の指示に従って、ネットワークプロバイダー（通信事業者）から提供されているQRコードをスキャンし、eSIMをダウンロードします。ダウンロード完了画面で[設定]ボタンをタップし、[SIMを使用]スイッチをタップして、オンにしてください。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

他のAndroid機器からデータを移行するには

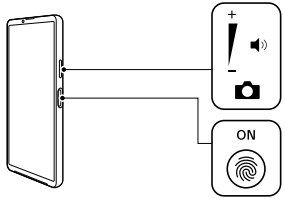
Googleアカウントと同期することで、音楽や写真、連絡先、端末の設定、スケジュール、通話履歴、SMS/MMSなどのデータを移行できます。初めて本機を起動するときは、画面の指示に従ってデータを移行してください。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

アクセスポイントを設定するには

ご利用の通信事業者が提供する情報をご確認ください。



ボタンの機能



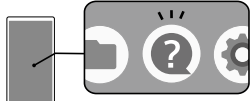
詳しい使いかた

- ヘルプガイド
 - 次のサイトで「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。
 <https://rd1.sony.net/help/mobile/xperia-10m6/ja/>



サポートアプリ

サポートアプリを使って、さまざまなサポート情報を見たり、機器のテストなどの便利な機能を使ったりできます。



重要なお知らせ (安全のために)

(必ずお読みください)

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全規制について

電波法に基づく認証について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許が必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること
- 改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した本機を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク」が本機の電子銘板に表示されております。電子銘板は、画面の下から上にスワイプ>[設定]>[デバイス情報]>[認証]をタップしてご確認ください。本機のネジを外すなどして内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用しないようお願いいたします。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ACアダプターおよびUSB Type-C™ケーブルについて
ACアダプターおよびUSB Type-Cケーブルは、対応のものをお使いください。対応のACアダプターおよびUSB Type-Cケーブルについては、次のサイトをご確認ください。
 <https://xperia.sony.jp/product/accessories/>

周波数帯について
本機のBluetooth®機能 / 無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH4/XXB/DS4/OF4

2.4：2 400MHz帯を使用する無線設備を表します。FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。
4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
8：想定される干渉距離が80m以下であることを示します。

：2 400MHz ~ 2 483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国 / 地域により異なります。航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
 - 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 - その他、ご不明な点につきましては、相談窓口までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
 - 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、相談窓口までお問い合わせいただきます。混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

- 本機は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53)、5.6GHz帯 (W56) の3種類の帯域を使用できます。
 - 5.2GHz帯 (W52 / 36、40、44、48ch)
 - 5.3GHz帯 (W53 / 52、56、60、64ch)
 - 5.6GHz帯 (W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)
- 5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 中継局と通信する場合を除く）。

安全のために

- ご使用前に、この「安全のために」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷」を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷」を負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷」を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、ACアダプター、USB Type-Cケーブル、SIMカードについて (共通)

危険	
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。	
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。	
砂や土、泥をかけた後、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水 / 防塵性能については、「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。	
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水 / 防塵性能については、「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。	

- 本機に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
 - ※ご注意ください例
 - ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本機の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本機の背面パネルは取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れ等により、本機が膨れている場合も、背面パネルを取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬらさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。

オプション品は、ソニー株式会社が指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告
落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

使用中・充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機の電源を切る。

 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意
破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、けがなどの原因となります。

注意
湿度やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

注意
防水 / 防塵性能については、「ヘルプガイド (Web取扱説明書)」をご覧ください。

注意
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。誤飲、けが、感電などの原因となります。

注意
乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。

注意
SIMカード / microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。誤飲、けが、感電などの原因となります。

注意
本機を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴やゲームなど、継続しての使用や充電中は、本機やACアダプターの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本機について

危険	
火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。	
鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。	
本機内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。	
本機内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。	

警告	
ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。	

注意
本機内のSIMカード / microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

注意
また、SIMカード / microSDカードトレイの挿入場所や向きを間違えないでください。

注意
カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

注意
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意
航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社社の指示に従ってください。電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

注意
病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

注意
ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴えるとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。

注意
また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをずる場合は、適度なボリュームに調節してください。

注意
ハンズフリーに設定して通話すると、本機から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴る場合があります。大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

注意
心臓の弱い方は、着信パイプレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。突然の着信パイプレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

注意
医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

注意
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください!
電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部や背面パネル、カメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ベットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本機をしっかりとし握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、相談窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」をご参照ください。

本機を受話口／スピーカー（画面中央上）、スピーカー（背面左下）、バイブレータ部（背面右下）、メインカメラ（画面右上、背面左上）に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やステープラーの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

子供や監督を必要とする方などの手の届くところに置かないでください。

本機は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こすおそれがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

医療機器に近づけないでください。

本機は磁石を使用しているため、ペースメーカ、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプター、USB Type-Cケーブルについて

警告

ACアダプターやUSB Type-Cケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプターやUSB Type-Cケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプターやUSB Type-Cケーブルのコードの上に重いものをせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプターに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本機にACアダプターやUSB Type-Cケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

ぬれた手でACアダプターやUSB Type-Cケーブルのコード、充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な**ACアダプターで充電してください。**

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプター：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプター：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。
ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプター本体を持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本機にUSB Type-Cケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの原など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意

コンセントにつないだ状態でACアダプターに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

SIMカードについて

SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（上部、下部、側面部）	ナイロン樹脂（ガラス繊維入り）	塗装
外装ケース（音量ボタン／ズームボタン／背面パネル）	ポリカーボネート樹脂	塗装
外装ケース（SIMカード／microSDカードトレイ挿入口のカバー）	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）	塗装
透明板（ディスプレイ）	強化ガラス	AFP処理
透明板（カメラレンズ）	強化ガラス	AFP処理＋AR処理
フラッシュ部	アクリル樹脂	－
電源ボタン／指紋センサー	エポキシ樹脂	塗装
受話口／スピーカー（上部） メッシュ／スピーカー（下部） メッシュ	ポリエステル樹脂	染色
SIMカード／microSDカードトレイのゴムパッキン	シリコンゴム	－
SIMカード／microSDカードトレイ	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）＋SUS板金	－

本機の発熱について

・使用中に本機の表面やACアダプターが熱くなることがあります。本機を使用中や充電中は、本体やACアダプターが熱くなることがありますが、動作上問題はありません。

・使用中、本機の表面温度がさらに上昇すると、右のマークが表示されることがあります。右のマークが表示された場合、継続して触れることがないようにご注意ください。やけどの原因となります。

・本体の温度上昇が著しい場合、安全のために強制的にシャットダウンすることがあります。このような場合は、本体が冷えてから涼しい場所でお使いください。

・本機やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは、故障が考えられます。電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて使用を中止し、保証書記載の修理相談窓口までご連絡ください。

防水／防塵性能について

SIMカード／microSDカードトレイを奥まで押し込み、挿入口のカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP6Xの防塵性能を有しています。防水／防塵性能について詳しくは、「ヘルプガイド（Web取扱説明書）」をご覧ください。

おサイフケータイ®のご利用にあたって
「ヘルプガイド（Web取扱説明書）」の「おサイフケータイ対応サービスご利用上の注意」を必ずお読みの上、ご利用ください。

ディスプレイについて

・本機は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
・画面の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

FCC Statement for the U.S.A.

・This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

To view the regulatory compliance mark

・Find and tap Settings > About phone > Certificates. A regulatory compliance mark such as an FCC ID is displayed on the screen.

輸出管理規制について

輸出管理規制について詳しくは、「ヘルプガイド（Web取扱説明書）」をご覧ください。

その他のお知らせ

ソニー株式会社は、取扱説明書の内容についていかなる保証もいたしません。誤植、不正確な情報、またはプログラムや製品の改良のために必要な場合、ソニー株式会社は、取扱説明書の内容を予告なくいつでも変更することができます。当該変更は、取扱説明書の改訂版に反映されます。
取扱説明書に記載された商品および会社名はすべて各所有者の商標または登録商標です。本書に明示されていない他の権利についても留保されるものとします。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。詳細については、https://www.sony.jp/xperia/legal/trademarks-and-copyright/ をご覧ください。イラストはいずれも説明のみを目的とするものであり、実際の製品を正確に表していない場合があります。

本機を廃棄するときのご注意

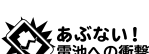


Li-ion

不要になりましたら電話機本体は、家庭ゴミとして捨てず、各自治体の定めるリサイクル回収拠点へお持ちください。または「保証書に記載のお問い合わせ先」までご相談ください。



キケン！
ぬれた状態で充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。



あぶない！
電池への衝撃

商標について

・Android、Google!は、Google LLCの商標です。
・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

・保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
・保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
・部品の保有期間について
当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後3年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

サポート・お問い合わせ

・よくある質問、LINE・チャットでのお問い合わせ
詳しくは以下のホームページをご覧ください。窓口受付時間なども確認できます。



https://www.sony.jp/support/xperia-sp/

・電話でのお問い合わせ

【スマートフォン相談窓口】

050-3754-9013（有料）

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1